

整理や収納を見直したり、システムをカイゼンしたことで生まれ変わった医院の知恵をご紹介します。



小原啓子  
代表取締役

藤田昭子  
歯科衛生士

## 訪問部門20年！ 両立できるカイゼン



**需要が増える訪問**  
徳地歯科医院は、訪問部門にも力を入れている。訪問診療の需要が高まってくる中、カイゼン次第で診療できる患者さんも増えていく。

今回の  
カイゼン医院

医療法人純康会  
徳地歯科医院 (訪問部門)

京都府

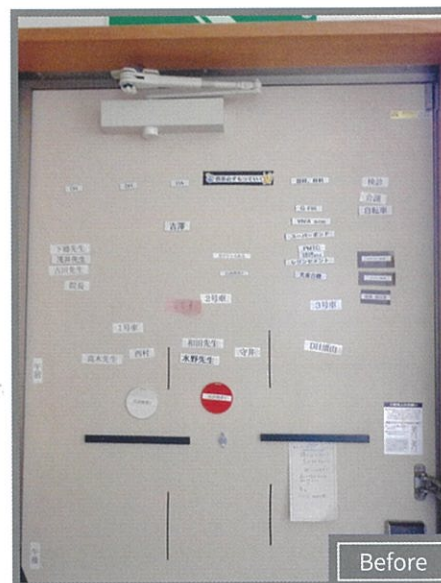
カイゼン歴2年

- 院長 徳地正純
- 歯科医師 8人 (うち非常勤3人)
- 歯科衛生士 10人
- 歯科助手 5人 (うち非常勤1人)
- 歯科技工士 5人
- 看護師 1人
- 受付カウンセリング 4人
- 訪問部門 3人
- ユニット：12台



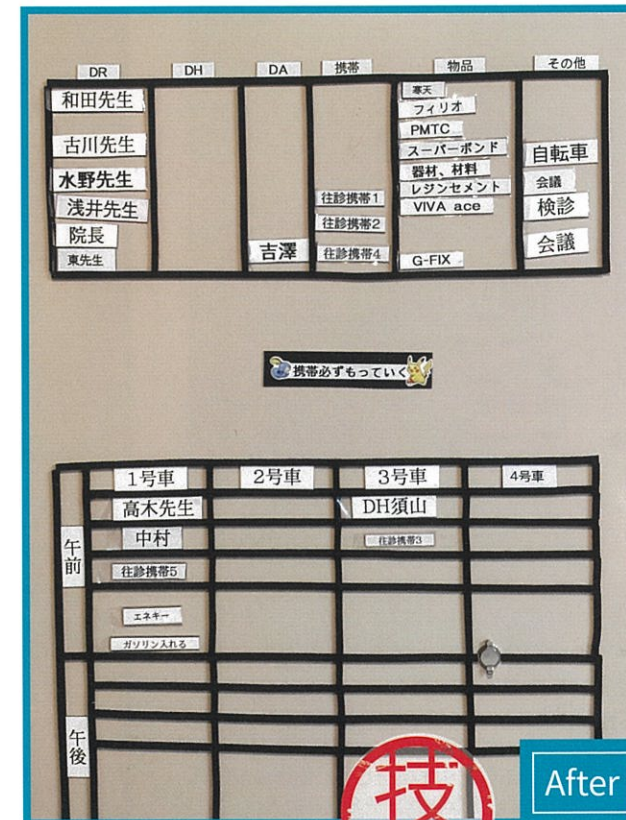
前回に続き、徳地歯科医院の訪問部門による工夫を紹介。効率アップのための、さまざまなカイゼンを行っている。

## （ スタッフの動きが分かる仕組み ）



Before

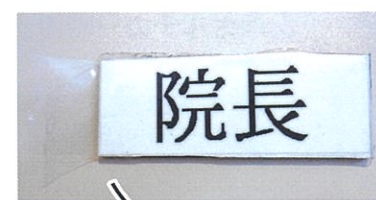
**ネームプレートを表にして整理！**  
バラバラに貼られていたネームプレートを、訪問車とスタッフの動きが分かりやすいよう表にして整理。マグネットにはセロテープを貼り、端を折り返して持ちやすくした。



After



セロテープを上から貼り、折り返しが持てるように



### 両立には訪問用のカイゼンが必要

体の不自由な方や寝たきりの方、自宅療養している子どもも含め、いろいろな身体的な理由で通院できない患者さんに対し、徳地歯科医院では20年前から訪問診療を行っています。毎月100件程

度の訪問を可能にするためには、全身状態の把握のため、ホームドクターや主治医などと連携するほか、スタッフの動きの把握や無駄を省いた整理整頓も重要になってきます。